

奄美の海の危機と 世界自然遺産への道 シンポジウム

日本の自然海岸は年々減少しており、奄美大島の海辺も決して例外ではなく危機的な状況にあります。一方で今年2月、「奄美大島、徳之島、沖縄島北部および西表島」が世界自然遺産への登録を目指して推薦され、保護の気運が高まっています。昨年のIUCN(世界自然保護連合)による延期勧告と、それを受けた推薦の取り下げ再検討を経た再挑戦ですが、今回も奄美大島の陸域の一部のみが対象です。

世界自然遺産登録と海辺の保全を同時に行い、また将来的に世界自然遺産を海まで広げることができるかどうか、みなさんと一緒に考える場としたいと思います。

※本プログラムにはパタゴニアから助成金を受給しています

日時 2019年6月15日(土) 12:30-16:30

基調講演

『日本の海の現状と奄美の海の危機』

講師： 向井 宏 氏
(海の生き物を守る会)

『世界自然遺産のしくみ』

講師： 安部 真理子氏
(公益財団法人日本自然保護協会)

会場 奄美市 AiAi ひろば

(観光交流センター／奄美市名瀬末広町 14 番 10 号)

共催 海の生き物を守る会・自然と文化を守る奄美会議
公益財団法人日本自然保護協会

お問い合わせ 日本自然保護協会 保護室

TEL : 03-3553-4101

メール : umi@nacsj.or.jp

URL : <https://www.nacsj.or.jp//>

奄美各地からの報告

- ・西古見(奄美の自然を守る会)
- ・嘉徳(奄美の森と川と海岸を守る会など)
- ・住用町市集落より

意見交換

世界自然遺産に向けて、など

